

令和4年10月17日 開会
令和4年10月17日 閉会
(臨時第8回)

大山町議会議録

(副本)

大山町議会

大山町告示第 165 号

令和 4 年第 8 回大山町議会臨時会を次のとおり招集する

令和 4 年 10 月 13 日

大山町長 竹口 大紀

1 日 時 令和 4 年 10 月 17 日（月） 午前 10 時 00 分

2 場 所 大山町役場議場

3 付議事件

議案第 102 号 大山町索道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
について

議案第 103 号 工事請負契約の締結について
（大山西小学校グラウンド改修工事（土木））

議案第 104 号 令和 4 年度大山町一般会計補正予算（第 8 号）

議案第 105 号 令和 4 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算
（第 3 号）

○開会日に応招した議員

小 谷 英 介	西 本 憲 人
豊 哲 也	島 田 一 恵
森 本 貴 之	池 田 幸 恵
門 脇 輝 明	大 原 広 巳
大 杖 正 彦	大 森 正 治
杉 谷 洋 一	近 藤 大 介
吉 原 美 智 恵	岡 田 聰
野 口 俊 明	米 本 隆 記

○応招しなかった議員

なし

第 8 回 大 山 町 議 会 臨 時 会 議 録

令和 4 年 10 月 17 日（月）午前 10 時

議 事 日 程

令和 4 年 10 月 17 日（月）午前 10 時 開会（開議）

1 開会（開議）宣告

1 議事日程の報告

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第 102 号 大山町索道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

日程第 4 議案第 103 号 工事請負契約の締結について（大山西小学校グラウンド改修工事（土木））

日程第 5 議案第 104 号 令和 4 年度大山町一般会計補正予算（第 8 号）

日程第 6 議案第 105 号 令和 4 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算
(第 3 号)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（15 名）

1 番	小 谷 英 介	2 番	西 本 憲 人
4 番	島 田 一 恵	5 番	森 本 貴 之
6 番	池 田 幸 恵	7 番	門 脇 輝 明
8 番	大 原 広 巳	9 番	大 杖 正 彦
10 番	大 森 正 治	11 番	杉 谷 洋 一
12 番	近 藤 大 介	13 番	吉 原 美 智 恵
14 番	岡 田 聰	15 番	野 口 俊 明
16 番	米 本 隆 記		

欠席議員（1 名）

3 番 豊 哲 也

欠員（なし）

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 ……………野 間 光 書記 ……………三 谷 輝 義

説明のため出席した者の職氏名

町長 ……………竹 口 大 紀	教育長 ……………鷺 見 寛 幸
副町長 ……………吉 尾 啓 介	教育次長 ……………前 田 繁 之
総務課長 ……………金 田 茂 之	幼児学校課長……………田 中 真 弓
財務課長……………井 上 龍	観光課長 ……………西 尾 秀 道
企画課長 ……………源 光 靖	健康対策課長……………末 次 四 郎
福祉介護課長……………池 山 大 司	農林水産課長……………桑 本 英 治

午前 10 時開会

○議長（米本 隆記君） みなさん、おはようございます。

○議会事務局長（野間 光君） 互礼を行いますのでご起立ください。一同礼。
着席してください。

開会・開議・議事日程

○議長（米本 隆記君） ただいまの出席議員は 15 人です。
定足数に達していますので、令和 4 年第 8 回大山町議会臨時会を開会します。
これから本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第 1 会議録署名議員の指名について

○議長（米本 隆記君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。
本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定によって 1 番 小谷英介議員、
2 番 西本憲人議員を指名します。

日程第 2 会期の決定について

○議長（米本 隆記君） 日程第 2、会期の決定についてを議題にします。
お諮りします。本臨時会の会期は、本日 1 日限りにしたいと思います。
ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日 1 日限りに決定しました。

日程第 3 議案第 102 号 ～ 日程第 6 議案第 105 号

○議長（米本 隆記君） 日程第 3、議案第 102 号 大山町索道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例についてから日程第 6、議案第 105 号 令和 4 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 3 号）までの 4 件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。竹口大紀町長。

○町長（竹口 大紀君） おはようございます。本日の臨時議会どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、提案理由の説明をさせていただきます。

議案第 102 号 大山町索道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例については、昨今の燃料価格高騰に伴う電気料金の値上がり等への対応として、第 6 条別表に定めております大山中の原スキー場の使用料について、一部改正を行うものであります。

なお、この条例は、公布の日から施行するものとしております。

続きまして、議案第 103 号 工事請負契約の締結については、地方自治法第 96 条第 1 項第 5 号及び大山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定により、議会の議決を求めるものであります。

本工事は、大山西小学校グラウンド改修に係る土木工事を行うもので、10 月 14 日に 6 業者を指名し競争入札を実施したところ、税込金額 6,600 万円で、西伯郡大山町所子 263 番地 1 株式会社所子建設代表取締役 中川郁夫が落札し、10 月 14 日付けで工事請負仮契約を締結したところであります。

なお、工期は、本契約締結の日の翌日から令和 5 年 3 月 31 日までとしております。

続きまして、議案第 104 号 令和 4 年度大山町一般会計補正予算（第 8 号）については、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援することを目的に、町民 1 人あたり 1 万円の商品券を配布する『大山町物価高騰対策チケット事業』や、社会福祉施設を運営する法人に対し助成を行う『社会福祉施設等物価高騰対策事業』等の新規計上など、既定の事業内容の変更又は追加の必要が出て来たことなどにより、歳入歳出予算の過不足を調整するため、既定の歳入歳出予算の総額に 2 億 5,790 万 4,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 120 億 8,232 万 9,000 円とするものであります。

続きまして議案第 105 号 令和 4 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 3 号）については、新型コロナウイルス感染症拡大により、診療のための PCR 検査の増加に伴い、臨床検査委託料及びこれに伴う診療報酬の増額によるもので、既定の歳入歳出予算にそれぞれ 437 万 4,000 円を増額し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ 3 億 2,942 万 6,000 円とするものです。

以上で、提案理由の説明を終わります。

議案第 102 号

○議長（米本 隆記君） 4 件の提案理由の説明が終わりました。

このあと質疑、討論、採決を 1 件ずつ行います。

これから議案第 102 号 大山町索道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例についての質疑を行います。質疑はありますか。

○議員（6 番 池田 幸恵君） 議長、6 番。

○議長（米本 隆記君） 6 番 池田議員。

○議員（6 番 池田 幸恵君） はい。1 点質問させてください。

この料金改正なんですけれども、リフト券が 1 日券ですけれども、4,900 円から 5,500 円に上がると、大体 600 円上がるようになっておりますが、この中にサービスの向上等も含められての値上げなんでしょうか。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 質疑の答弁は、それぞれ担当のほうからお答えをさせていただきます。

○観光課長（西尾 秀道君） 議長、観光課長。

○議長（米本 隆記君） 西尾観光課長。

○観光課長（西尾 秀道君） はい、池田議員の御質問にお答えします。

今回の使用料の改正につきましては、電気料金の上昇に対応するものということでございます。ここに直接のサービス向上云々というところは含んでおりません。

ただ、この価格が、金額が上限ということになっていきますので、その辺りサービスが低下しないよう検討しながら、かつ今も、現にその条例の定める範囲の中において、いろいろなサービスのメニューですとか、あるいはキャンペーン、いろいろ催されておりますので、そこのところまた改善工夫しながら取り組んでまいりたいというふうに考えております。以上です。

[「すみません。前半の部分がちょっと聞き取れなかったんですけど、再度お願いしてもいいですか」と呼ぶ者あり]

○議長（米本 隆記君） 前半の部分が聞こえなかったようで。

[「下向きでこもってしまって聞こえなくて・・・」と呼ぶ者あり]

○観光課長（西尾 秀道君） はい、すみません。今回の価格料金の改正に伴って、直接にサービスを向上させるという部分のものは含んでおりません。以上です。

○議員（6 番 池田 幸恵君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 6 番、池田議員。

○議員（6番 池田 幸恵君） 全国的にも大体リフト券値上がりになってきておりますが、やはり、競技人口、スキーを楽しむ方の人口も同時に減ってきています。

そこで残るためのスキー場、残るためのゲレンデにするためには、他のゲレンデ、今年度は近隣のスキー場もオープンされます。で、やはり競争相手も増える中で、やっぱり町として維持していくためには、託児所を控えてるスキー場等もありますので、やっぱりその辺りも含めて、全体的に来てもらえる、来たいと思ってもらえるスキー場になるような体制を整えていきたいと思うんですけれども、その辺りどうでしょうか。

○議長（米本 隆記君） 議案の質疑の内容とちょっと違ってますけど、答えられるようでしたら答えてください。

〔「ごめんなさい、ちょっと感情が入りました」と呼ぶ者あり〕

○観光課長（西尾 秀道君） はい。すいません。これにつきまして指定管理料ということで、こちらのほうでお支払いしているというものではございませんで、運営していただいておりますところ、指定管理者のところでこのリフトの使用料ですとか、そういったところの収益の中で運営されるものでございますので、こちらのほうからこうしてくださいというようなことは言えませんが、全体、そして他のスキー場との比較を考えながら、またできるところについては、取り組んでいただけるよう協議等してまいりたいというふうに思います。以上です。

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありますか。

○議員（2番 西本 憲人君） 議長、2番。

○議長（米本 隆記君） 2番 西本議員。

○議員（2番 西本 憲人君） 今回、半日券という条例文を5時間券に変えられるということだったんですけど、条例を確認してみたら、この中の原スキーセンターのところにも、半日(4時間以内)というふうに書いてる表記がありまして、これ条例変えるタイミングで、こちらも4時間以内じゃなくて例えば5時間とか、いわゆる5時間券を購入された人が5時間、そこの会場を予約して使うとかっていうのもあり得るんじゃないかなと思ってんですけど、ここは変わらないんでしょうか。今回は。

○観光課長（西尾 秀道君） 議長、観光課長。

○議長（米本 隆記君） 西尾観光課長。

○観光課長（西尾 秀道君） はい、すいません。リフト券につきましては、これまで5時間もしくは5.5時間という運用できておりまして、それが明確に分かりやすいように、IC化によりまして、5時間という管理が可能になったことから、今回、実態に合わせまして5時間券ということで名称を変えるものでございます。

そして、センターの使用料でございますけれども、これにつきましてはリフトのほうの実態とはまた別のものがございますので、今の表のほうにも4時間以内と、あるいは4時間に超えるものということで分けてございますので、これについては今回、変更は行

わないというところであります。以上です。

[「了解しました」と呼ぶ者あり]

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありますか。

○議員（10 番 大森 正治君） 議長、10 番。

○議長（米本 隆記君） 10 番 大森議員。

○議員（10 番 大森 正治君） 電気料金の値上げ等に対応するためというのは理解出来ますが、その際 10%を目安に設定したということですが、その 10%の根拠ってというのは何でしょうか。お答え願いたいし、その際、ちょっと調べてみましたら、回数券の 1 回券の場合は 20%の値上げになってます。ほかのところでも、5 時間券が子供の場合 15%値上げになっています。そのほかは、大体 10%から 12%で納得できますけども、この辺の整合性はどうか考えたらいいでしょうか。

○観光課長（西尾 秀道君） 議長、観光課長。

○議長（米本 隆記君） 西尾観光課長。

○観光課長（西尾 秀道君） はい、お答えします。

まず根拠でございますけども、大体 10%を想定いたしましたのは、電気料金の値上げという部分が予想が見通せない中で、この条例が上限額ということに性格上なるものでありますので、そこを見込ませていただいたところであります。

それと、金額のばらつき、ということにつきましてでございますけども、これにつきましては、同様に上限額という意味合いでの設定でございます。ばらつきはございますけども、今回はそういう 10 円未満の部分の切上げ、切捨てというところで全部、切上げという格好で 100 円ぞろいということとさせていただきます。

御理解賜りたいというふうに思います。

○議員（15 番 野口 俊明君） 議長、15 番。

○議長（米本 隆記君） 15 番 野口議員。

○議員（15 番 野口 俊明君） 今回、時間券ということになったということですから、例えば、5 日間で毎日 1 時間ずつで、5 日間で 5 時間滑るというわけですね。

○観光課長（西尾 秀道君） 議長、観光課長。

○議長（米本 隆記君） 西尾観光課長。

○観光課長（西尾 秀道君） はい、これ 5 時間券は発行された日における 5 時間券ということでございます。

[「もう 1 回」と呼ぶ者あり]

○観光課長（西尾 秀道君） リフト券の発行された日の 5 時間という券でございます。

○議員（15 番 野口 俊明君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 15 番 野口議員。

○議員（15 番 野口 俊明君） そうしたら、そんなに 5 時間券なんていう必要ないで

ないの。半日券もあれば、あれの券、いろんな券もあるんだけど、そこら辺の考えはどうですか。

○観光課長（西尾 秀道君） 議長、観光課長。

○議長（米本 隆記君） 西尾観光課長。

○観光課長（西尾 秀道君） はい、半日券につきましては、これまでも半日券という形ではなくして、例えば、午前券、午後券ということで、それぞれ5時間なり5.5時間ということで販売されてきましたけども、ICカード化によりまして、時間の管理が可能になったというところで、5時間ということで時間設定をされておりますので、このことから実態に合わせまして理解がしやすいように5時間券ということで、条例のほうの項目の名称も変更させていただくというものであります。

○議員（15番 野口 俊明君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 15番 野口議員。

○議員（15番 野口 俊明君） いや、だから、IC化でなったんなら、例えば、夜の8時に滑ってですよ、9時までやったら、あくる日また4時間分でも滑れるでないの。IC化だったら、そういうことができないのですか。

○観光課長（西尾 秀道君） 議長、観光課長。

○議長（米本 隆記君） 西尾観光課長。

○観光課長（西尾 秀道君） はい、メニューとしまして、例えば、そういう部分につきましては2日券ですとか、実際はこの条例の設定額の範囲の中において午後3時券でありますとかということで、販売もございますので、お客様のほうで自分の御自身の実態に合わせて御購入いただくということになるかと思えます。以上です。

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありませんか。

○議員（14番 岡田 聡君） 議長、14番。

○議長（米本 隆記君） 14番 岡田議員。

○議員（14番 岡田 聡君） この値上げ11%から12%ぐらいの値上げになってますが、大山の他のゲレンデの状況はどうですか、足並みをそろえて値上げということですか。

○観光課長（西尾 秀道君） 議長、観光課長。

○議長（米本 隆記君） 西尾観光課長。

○観光課長（西尾 秀道君） はい、これは既に共通券としてあるものでございまして、価格を、運営上苦しくないようにしていくには、中の原スキー場のリフト券を価格を上げないと、共通券全体に影響するということから、今回、金額の料金の改正ということで上げさせていただいておりますものでありますので、御了解お願いしたいと思います。

○議員（14番 岡田 聡君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 14番 岡田議員。

○議員（14番 岡田 聡君） ホワイトリゾート、ほかのゲレンデも同じということで

すか。

○観光課長（西尾 秀道君） 議長、観光課長。

○議長（米本 隆記君） 西尾観光課長。

○観光課長（西尾 秀道君） それは他のスキー場という、大山とは違う他のスキー場という意味かもしれませんがも・・

〔「大山」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 大山ホワイトトリゾートしてなのか、中ノ原なのかっていうこと。

○観光課長（西尾 秀道君） はい、先ほど申し上げたようにこれは共通券ということで、この共通にしていくために、中の原のスキーセンターの条例の金額も変えていかんといけんということですので、結果として大山の共通券の上限額ということになってまいります。以上です。

○議長（米本 隆記君） その他質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 質疑なしと認めこれで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 102 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（米本 隆記君） 起立多数です。

したがって、議案第 102 号は原案のとおり可決されました。

議案第 103 号

○議長（米本 隆記君） 議案第 103 号 工事請負契約の締結について（大山西小学校グラウンド改修工事（土木））の質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

○議長（米本 隆記君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 103 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（米本 隆記君） 起立多数です。

したがって、議案第 103 号は原案のとおり可決されました。

議案第 104 号

○議長（米本 隆記君） 議案第 104 号 令和 4 年度大山町一般会計補正予算（第 8 号）の質疑を行います。質疑はありませんか。

○議員（7 番 門脇 輝明君） 議長、7 番。

○議長（米本 隆記君） 7 番 門脇議員。

○議員（7 番 門脇 輝明君） はい、肥料の高騰対策についてお伺いします。

今予定の利用トン数を 600 トンというふうに設定をされておりますけれども、過去最大 633 トンというふうに書いてあります。これ利用が伸びたら追加の補正があるのでしょうか、伺います。

○農林水産課長（桑本 英治君） 議長、農林水産課長。

○議長（米本 隆記君） 桑本農林水産課長。

○農林水産課長（桑本 英治君） お答えいたします。

600 トンとした理由でございますけれども、まず、堆肥の散布時期につきましては、ブロッコリーだと 6 月から大体 7 月、白ネギだとこの冬から春にかけてということで品目によって、やはりその散布時期が限られてまいります。そういった中で、今後の堆肥生産と散布を考えたときに、委託先が受けられます量としましても、今後の生産量を見越しても、大体 600 トンが現状では最大だろうというところがございます、今後の増産ということをございしましたが、申込み先のほうにも、今後、最終的には 600 トンまでということをお願いしたいというふうに考えるとございます。以上です。

○議長（米本 隆記君） よろしいですか。

○議員（7 番 門脇 輝明君） はい、いいです。

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありませんか。

○議員（2 番 西本 憲人君） 議長、2 番。

○議長（米本 隆記君） 2 番 西本議員。

○議員（2 番 西本 憲人君） はい。5 ページ、民生費で住民税非課税世帯等に関する臨時特別給付金事業について聞きたいんですけど、補助金対象者の抽出方法、任意の 1 か月というふうにしてあって、これプッシュ制じゃなくて、自己申告制だと思うんですけど、この任意の 1 か月というのはですね、これ本町で決めた対象者の条件であるのか、国庫支出金なので国から来た条件なのか、どちらかちょっと聞きたいです。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（米本 隆記君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） はい。まず補助対象者の抽出方法でございますが、家計急変のほうにつきましては申請型になりますので抽出は行いません。プッシュ型のほうにつきましては、国の制度上基準日が今年の 9 月 30 日ということになっております

ので、9月30日現在におきまして町内、大山町に住民票がある方で、かつ令和4年度分の町民税均等割が非課税である世帯、こちらをシステムで抽出いたします。

そしてその該当世帯の方につきましては、確認書というのを送らせていただきますので、そちらのほうに必要事項を御記入いただきまして、送付していただければ支給させていただきますという形になります。任意の1か月ですが、これは国とか町が決めるものではなくて、申請者の方に決めていただくものになります。

ですので、今年の1月から12月までの間で家計が急激に急変したその月を選んでいただきまして、先ほど御説明したような算定式、こちらが申請様式の中に入っておりますので、世帯全員の方の収入を入れていただき、計算をして、収入所得を、簡易判定表の収入所得を下回れば対象になるということで、そちらのほうで申請のほうを行っていただくという形のものでございます。

○議員（2番 西本 憲人君） 議長、答弁漏れです。国からの対象者、条件でしょうか、そうじゃないでしょうかというところですか。

○議長（米本 隆記君） 国が決めた制度上のことですか。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（米本 隆記君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） はい、こちらは全国一律でQ&Aも100ページ近くのものが出ておりますので、それに従って全自治体が同じように対応していくということになります。

〔「了解しました」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありますか。

○議員（10番 大森 正治君） 議長、10番。

○議長（米本 隆記君） 10番 大森議員。

○議員（10番 大森 正治君） 今回の西本議員と同じ事業についての質疑ですけども、家計急変世帯に対する補助、これは非課税扱いとなるという基準は分かりました。先ほどの説明資料でね。ただ、これ申請型ですので、今あったとおりで、なんていうか、周知漏れがあっちゃいけないなっていうことは当然言えると思います。ですから、その周知をどういうふうにされるのか、かなり丁寧に詳しくされないといけない世帯とか方があるんじゃないかなというふうに予想するんですけども、それはどのように考えておられますか。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（米本 隆記君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） 周知方法につきましては昨年同様に町報だいせんと、それからホームページへの掲載のほうは予定しております。それ以外の方法につきましては、これが低所得者の方向けの施策ということもありますので、ちょっと余り過大な

周知は少し控えたいなということで去年から対応させていただいております。

ただどうしても申請の仕方が分からないとか、情報が行き届かないという方もあろうかと思っておりますので、そういった方につきましては、保健師の訪問とかそういった場も使いながら、こういった制度がありますよということはお知らせは個別にさせていただきたいと思っております。以上です。

○議員（10番 大森 正治君） はい。議長。

○議長（米本 隆記君） 10番 大森議員。

○議員（10番 大森 正治君） 配慮は分かりますけども、なかなか広報、町報だけでは分かりにくい、読まない方もかなりあるんじゃないかなと思うんですけども、目に見える形も必要ですし今のような、やっぱり耳に聞こえて周知されるということもあると思うんですが、防災無線なんかやっぱり有効だと思うんですが、それはされない予定ですか。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（米本 隆記君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） はい、先ほど答弁させていただきましたとおり、かなりセンシティブというほどではないかもしれませんが、経済的な問題等も絡みますので、あまりちょっと過大な周知は避けたいなというふうに思ってます。ただ最低限、必要な周知のほうは行っていきたいと思っております。以上です。

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありませんか。

○議員（1番 小谷 英介君） 議長、1番。

○議長（米本 隆記君） 1番 小谷議員。

○議員（1番 小谷 英介君） はい。先ほど門脇議員からも、質疑があった箇所ですけれども、農林水産事業の耕畜連携堆肥散布のところについて、もう少し詳しくお聞きしたいと思っております。

ぜひ、耕畜連携進めていっていただきたいと思うんですけれども、まず現状として、町内産の堆肥の散布の利用状況、利用している農業者の割合ですね、今、どれぐらいの方が実際今現状利用しているのかということが1点と、それから2点目は、利用されている方はどういったものを今栽培されているのかということ。で、3つ目が1番大事だと思うんですけども、せっかくいいことをして補助したとしても、先ほど少し説明がありましたけども、利用が集中すると、結局使えないみたいなことがないように、散布体制を今後充実さしていくことも、これはセットで考えられているのかということ、裏を返せば今回、国からの予算があるから今回こういった事業がきっかけとしてあるかもしれませんが、今後これはやっていく、こういった取組は継続していくような今予定なのか、その辺りをちょっとお聞かせください。

○農林水産課長（桑本 英治君） 議長、農林水産課長。

○議長（米本 隆記君） 桑本農林水産課長。

○農林水産課長（桑本 英治君） お答えいたします。

まず、利用者等の御質問でございますけれども、令和3年度の実績で見ますと、ブロッコリー農家が151名中15名、白ネギ農家が85名中6名、合計236名中21名が使用するということでございまして、大体8.9%ぐらいということになります。

対象農家を町内全経営体と見た場合でいきますと、町内1408経営体あるということになっておりますので、それに対する21名で言いますと、僅か1.5%程度ということでございます。

それから何の作物に使われているかということでございますが、町が支援・助成いたします堆肥散布におきましては、作物は、ブロッコリーと白ネギの2品目となっております。

それから散布体制、今後の充実ということでございましたが、今回の追加事業におきましては、現状の体制で十分対応可能というふうに伺っているところではございますけれども、今後、使いたいときに使えないということがないように、委託先と十分に調整してまいりたいというふうに思っておりますが、その中で、必要となれば、作業の外注等の拡充もまた検討していきたいというふうに考えてるところでございます。

この堆肥散布の助成につきましては、取りあえず、今のコロナ交付金を充てますものについては、今年度末、3月末までと考えておりまして、令和5年の4月以降は、これまでどおり5,000円での助成を継続したいというふうに考えてるところでございます。

以上です。

○議長（米本 隆記君） よろしいですか。

〔「はい、了解しました」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありませんか。

○議員（6番 池田 幸恵君） 議長、6番。

○議長（米本 隆記君） 6番 池田議員。

○議員（6番 池田 幸恵君） 1問、お願いします。

商工費の8ページです。大山町物価高騰対策チケット事業についてお伺いします。今まで発行されてきた住民さんへのチケットとはちょっと趣旨が違い、今回の物価高騰に対するチケットだということですがけれども、チケットってという形に対しては、やはり今までしてきた分と使い方とかに関してはやっぱりこう、同じだと思うんです。

まだ、前回のチケットがまだ使われてないとか聞くんですけれども、今回はそのような形をどのように反映されているのか、今まで出てきた使い勝手が悪いとかそういうふうな声を反映されていることがあればお知らせください。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長。

○企画課長（源光 靖君） 御質問の内容につきましてですが、今まで、いろいろと御意見いただいた中で、いただいた意見に近いものとして、事業者側のほうの御意見として、期間の終わりごろに使用が集中するということがございました。で、それに合わせて、今度利用者側のほう、チケットを持っておられる側のほうからも使いたいけれども商品がないというような状況が発生しているということを把握しております。

これについて今現在、運営しております令和4年度の事業のところでも、なるべく早めにお使いいただくように、様々な機会に、広報しているところでございます。

このたび御議決いただきましたら、準備の段階から、早めにお使いいただけるような、いろいろな周知等は準備を進めたいと思います。

○議員（6番 池田 幸恵君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 6番 池田議員。

○議員（6番 池田 幸恵君） ぜひとも、お願いしたいと思います。で、今回の物価高騰対策ということなので日々の生活に直結すること、例えば、医療費とか、調剤薬局さん、日々、やっぱり支払いはしなければならないものも、できたら周知を深めていただいて、皆さんが、このチケットを有意義に使えるようにしていただきたいと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長。

○企画課長（源光 靖君） はい、チケットにつきましては、事業者支援というところがございます。この事業者につきましては、今までの取組につきましても、例えば金融機関でございましたり、医療機関、それから総合サービス業というようなところについては、対象外ということでさせていただいております。

これはいわゆるその全国的なネットワークでの支援策があるとか、それから本社等が別にあるとかというようなところもございますので、そういったところにつきましては、チケットの対象外というようなところで整備をさせていただいているところでございます。

現在準備しかけております分については、まだ最終調整中ではございますが、今までと、使用先については、同じような内容で検討を進めておりますので、御理解を賜りたいと思います。

○議員（6番 池田 幸恵君） 議長、もう1点確認させてください。

○議長（米本 隆記君） 6番 池田議員。

○議員（6番 池田 幸恵君） 例えば国の支援がっておっしゃられたんですけれども、個人的に薬局とかされてるところも、対象外とかになってくるんでしょうか。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長。

○企画課長（源光 靖君） はい、薬局等につきましては、いわゆる薬等以外で、例えば飲物とかを合わせて販売しておられるというようなケースであれば、そちらのほうは対象ということによっておりましたけれども、いわゆる点数等で管理される医薬品等については、対象外ということの整理をさせていただいております。

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありませんか。

○議員（9 番 大杖 正彦君） 議長、9 番。

○議長（米本 隆記君） 9 番 大杖議員。

○議員（9 番 大杖 正彦君） 通告しておりますが、これまでも何回かコロナ禍に対する緊急対策ということで商品券、あるいは飲食券などはありました。これ過去 2 回でしたか、3 回なるんですかね、ちょっと記憶ないんですが、その町が行った実施したものの使用実績データとは取っておられますかね。もしそれが飲食関係、あるいは物品関係分ればちょっと教えていただきたいと思います。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長。

○企画課長（源光 靖君） はい、過去の実施分につきましては、どういったところでお使いいただけたか、それからどういったところがどういう金額、換金いただけたかというようなところは把握をしているところでございます。

今回につきまして、それをダイレクトに反映したというようなところの取組を行っておりませんが、今後の取組に当たりまして、活用できるように、資料等は全て残しているところでございます。

○議員（9 番 大杖 正彦君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 9 番 大杖議員。

○議員（9 番 大杖 正彦君） はい。確認ですが、今回、燃料等物価高騰に対する支援ということで、燃料費関係とかという形で商品券になったということは、非常に目的に合った形になったと思うんですが、過去のデータをしっかり町内に合った形で実施していくためには、これからも必要なことだと思いますが、その辺の考え方について伺います。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長。

○企画課長（源光 靖君） はい、おっしゃいます通り、今までの経過等につきましては、今後の施策等に活かせるように、データ等の積み重ねは必要だと考えておりますし、実施しているところでございます。

あとは今回のチケットにつきましては、御指摘のとおり燃料高騰、それから物価高騰対策ということで、これは業種等にかかわらず、全ての事業者が、収益については差があるかもしれませんが、費用については、全て同じだけ物価高騰の影響を受けておられ

るだろうというところで考えておりますので、業種等については、今までの実績等も踏まえた上で、例えば券種をどういうふうにするのかというようなところは、現在最終調整中でございます。

○議長（米本 隆記君） よろしいですか。そのほか質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 104 号を採決します。お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（米本 隆記君） 起立多数です。

したがって、議案第 104 号は原案のとおり可決されました。

議案第 105 号

○議長（米本 隆記君） 議案第 105 号 令和 4 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 3 号）の質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 105 号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（米本 隆記君） 起立多数です。

したがって、議案第 105 号は原案のとおり可決されました。

閉会宣告

○議長（米本 隆記君） これで本臨時会の会議に付された事件はすべて終了しました。会議を閉じます。

令和 4 年第 8 回大山町議会臨時会を閉会します。

○議会事務局長（野間 光君） 互礼を行いますので、ご起立ください。一同礼。お疲れ

さまでした。

午前 10 時 38 分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する

議 長 米本 隆記

署名議員 小谷 英介

署名議員 西本 憲人